

会員様各位 4月 CAL 研究会中止のご案内

智頭石油株式会社 代表取締役 米井哲郎

新型コロナウイルスが拡大している状況を受け、4月のCAL 研究会は開催を中止することに決定しましたのでお知らせします。

とても残念ですが、安全面を第一に考慮した結果です。急なご案内となりご迷惑をおかけしますが、ご理解を頂きますようお願い申し上げます。社会の不安が収まり、7月のCAL 研究会が予定どおり開催できることを願っています！

近日完成の「ほけれん」また「マイピット」「カーシェア」等のCAL システムの導入検討のご要望には本部より個別訪問対応を行っています。何なりと声をおかけください。

CAL 研究会 生川正洋からのメッセージ

「次回 CAL 研究会は中止します」

会員の皆様へ

一気に春がやって来たように暖かい日が続き、桜の花が咲き始めました。皆さんは、その後いかがお過ごしでしょうか。

この2月から3月にかけて、私たちの周辺には、かつて経験したことがないような、思いがけない事態が起こっています。研究会の案内の際に少し触れた新型コロナウイルスに関連する問題が逼迫して来たことです。新型コロナウイルスは、世界中に拡大してますます猛威を振るい、感染者、死者数とも増加を続けています。これに対して各国は次々と厳しい対策を打ち出していますが、なかなか決定打が見つからないというのが現状です。

さて、そこで皆さんにご提案していきたいのが、4月17日（金）、18日（土）に予定しているCAL 研究会をどうするか、ということです。

これに対しては、多分一人ひとり会員によって意見は異なってくると思われれます。当然一方には、問題が発生して以来、時間も一定経過した。感染率、死亡率も思ったほど高くない。マイナスのスパイラルに巻き込まれて、中止するよりも、思い切ってやるという方向に舵を切るべきだという考え方が出て来ます。

しかし、これに対して全く逆の考え方もあります。これについては、ドイツのメルケル首相のメッセージが公式サイトに公表されました。メルケル首相の言葉によれば、このままの状態を続ければ、国民の60～70%が感染し、重症患者も数千万人に達する。それは第二次世界大戦以来の危機で、これを防ぐためにはウイルスの拡散スピードを緩めるしかない。そのためには、公的生活を可能な限り制限することが必要だ、と語っています。

私はメルケルさんを、国境を越えて世界の中で唯一信頼できる政治家だと考えます。メルケルさんの言葉には、国民に対する深い愛と、政治家としての誠実さが溢れているように思います。

この文章を読んで、CAL 研究会もここは、集まりを中止する。その上でどうやって将来に向かって進むかを検討する、と考えたわけです。研究会を中止する、ということは誠に残念ですが、それも「しかたがない」ということではなく、時代を象徴することなのでしょう。7月の研究会で、また皆さんとお会いしましょう。



株式会社 L C L

〒259-1117 神奈川県伊勢原市東成瀬35-10 アミューズ1F
Tel. 0463-97-2878 Fax. 0463-97-2251
<http://www.cal.gr.jp/>